

令和4年10月14日

保護者様

松戸市立常盤平中学校  
校長 須原 敬浩

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

爽秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、このたび令和4年度全国学力・学習状況調査(4月19日実施)の結果及び本校生徒の分析結果をまとめましたので、お知らせします。

今後も学力向上はもとより、本校教育活動の推進に努めて参りますので、保護者の皆様方のご支援の程よろしくお願い致します。

### 1 全国学力・学習状況調査の概要

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善をねらいとし、全国の中学3年生を対象として、本年度4月19日(火)に国語・数学・理科の3教科について実施されました。調査内容は、主に「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境に関する調査」です。

### 2 今回の調査から

#### (1)標準化得点

##### 【標準化得点】

	国語	数学	理科
R4 本校	99	98	98

##### 【標準化得点】

相対的に比較するために、全国の平均が100となるように標準化した得点。偏差値に50を加えた値。

#### (2)各教科 領域ごとの結果

##### 【国語】

- (1)「読むこと」の領域の正答率が全国と比較して高かったです。
- (2)「書くこと」の正答率が低いので、自分の考えをわかりやすく伝える力を伸ばしていきましょう。

##### 【数学】

- (1)「関数」の領域の正答率が高かったです。
- (2)「数と式」の正答率が低いので、素因数分解など計算練習に毎日取り組みましょう。

##### 【理科】

- (1)「エネルギー」「生命」の領域の正答率は全国に近かったです。
- (2)「粒子」「地球」の正答率が低いので、苦手領域を作らないように、興味関心をもって学習しましょう。

## 【生活環境や学習環境】

- (1)「基本的な生活習慣」が身につけている生徒が多いですが、「自己肯定感」や「進路意識」が低い生徒が多かったです。
- (2)1日当たりのゲーム時間が、千葉県・全国と比較して短い生徒が多いです。  
(ゲーム時間、SNS や動画視聴の時間が1時間以内の生徒ほど正答率が高かったです。)
- (3)「携帯電話、スマートフォンやコンピュータを持っていない」生徒の国語・数学の正答率が最も高かったです。
- (4)「1日当たりの家庭学習時間」の長い生徒が多かったです。しかし、過年度と比較して3時間以上学習している生徒の割合は、9%減少しています。  
(3時間以上10.3%、2～3時間33.6%、1～2時間29.9%)
- (5)本校では ICT を活用した授業実践が、県や全国と比較して著しく多かったです。
- (6)自分と違う意見に触れることに対して、消極的な考えの生徒が多かったです。

## 3 今後、学校での指導に生かしたいこと

本校では、これまで松戸市の ICT 活用研究推進校の指定を受けて、教育活動に積極的に ICT 機器を活用してきました。「Society5.0時代」の到来を見据え、ICT を利活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現により、全ての生徒に確かな学力をつけていくことは喫緊の課題となっています。今回の学力・学習状況調査の結果を踏まえ、これまでの ICT 活用の実践の積み重ねを整理統合した授業改善のための校内研修を推進していきます。

具体的な指導改善点としては、まず国語や数学、理科で正答率が低かった分野で探求型授業を推進し、生徒の学ぶ意欲の向上を図ります。次に探求型授業や体験学習などで、多様な他者との協働的な学びを実施し、深い学びの実現を図ります。そして、ICT を利活用し、予習型学習や補充型学習など個別最適な家庭学習と授業の一体化を目指します。その際、各家庭での家庭学習の状況を教職員が見取るためにクラウド上の「学習履歴」を活用して、個々の生徒の学びを支援していきます。

## 4 その他

- (1)基本的な生活習慣の確立は学習の土台になります。本校生徒は基本的な生活習慣が確立している生徒が多いので、今後とも「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を大切にするようにお願いします。
- (2)学力は、国語、数学、理科の3教科だけで測定できるものではありません。文部科学省は本調査により測定できるのは学力の特定の一部であるとしています。本校といたしましても、今後この趣旨を踏まえて、調査結果を分析し、課題の明確化と改善策を検討して、指導の充実に努めてまいります。
- (3)3年生につきましては、個別の調査結果を別紙「個人票」で配付しています。「個人票の見方」についても裏面で掲載していますので、課題の確認や今後の学習に活用して頂ければと思います。

# 個人票の見方

## 個人票の見方について

令和4年度全国平均・平均値比較表【中学校】調査結果

科目	調査年度	年	平均
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	2022	2023	2024

  

**国語**

11月  
全国調査

調査年度：令和4年度（2023年度）

調査年度別の調査結果（国語）

調査年度	平均値	標準偏差
令和4年度	11.1	3.2
令和3年度	10.8	3.1
令和2年度	10.5	3.0
令和1年度	10.2	2.9
令和0年度	9.9	2.8

調査年度別の調査結果（数学）

調査年度	平均値	標準偏差
令和4年度	11.5	3.3
令和3年度	11.2	3.2
令和2年度	10.9	3.1
令和1年度	10.6	3.0
令和0年度	10.3	2.9

調査年度別の調査結果（理科）

調査年度	平均値	標準偏差
令和4年度	12.0	3.4
令和3年度	11.7	3.3
令和2年度	11.4	3.2
令和1年度	11.1	3.1
令和0年度	10.8	3.0

調査年度別の調査結果（総合）

調査年度	平均値	標準偏差
令和4年度	13.5	3.5
令和3年度	13.2	3.4
令和2年度	12.9	3.3
令和1年度	12.6	3.2
令和0年度	12.3	3.1

調査年度別の調査結果（個別問題）

問題番号	調査年度	正答率	誤答率	無回答率	その他
1	令和4年度	85%	15%	0%	0%
2	令和4年度	75%	25%	0%	0%
3	令和4年度	65%	35%	0%	0%
4	令和4年度	55%	45%	0%	0%
5	令和4年度	45%	55%	0%	0%
6	令和4年度	35%	65%	0%	0%
7	令和4年度	25%	75%	0%	0%
8	令和4年度	15%	85%	0%	0%
9	令和4年度	5%	95%	0%	0%
10	令和4年度	0%	100%	0%	0%
11	令和4年度	10%	90%	0%	0%
12	令和4年度	20%	80%	0%	0%
13	令和4年度	30%	70%	0%	0%
14	令和4年度	40%	60%	0%	0%
15	令和4年度	50%	50%	0%	0%
16	令和4年度	60%	40%	0%	0%
17	令和4年度	70%	30%	0%	0%
18	令和4年度	80%	20%	0%	0%
19	令和4年度	90%	10%	0%	0%
20	令和4年度	100%	0%	0%	0%
21	令和4年度	100%	0%	0%	0%
22	令和4年度	100%	0%	0%	0%

**A 全国の状況**  
 (正答数ごとの生徒の割合)  
 4月19日(火)に調査を受けた全国の生徒の正答数別の割合を表しています。それぞれの生徒の正答数に該当するグラフを濃い色で表示しています。

**B 正答数**  
 (生徒の正答数と全国の平均正答数)  
 ・全問題中の合計正答数  
 ・学習指導要領の領域等別の正答数  
 ・問題形式ごとの正答数

**C 問題の内容**

**1 結果**  
 ○: 正答  
 ×: 誤答  
 —: 無回答

**2 全国の正答率**  
 4月19日(火)に調査を受けた全国の生徒の正答率を示しています。

**3 学習指導要領の内容(領域)**  
 各問題に関して、現行の学習指導要領の内容(領域)と、その学習学年を示しています。  
 【国語・数学・理科】 学習学年 問題に関連する学習指導要領の学年  
 【国語】  
 (1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項  
 (2) 情報の扱い方にに関する事項  
 (3) 我が国の言語文化に関する事項  
 A: 話すこと・聞くこと  
 B: 書くこと  
 C: 読むこと  
 【数学】  
 A: 数と式  
 B: 図形  
 C: 関数  
 D: データの活用  
 【理科】  
 「エネルギー」を柱とする領域  
 「粒子」を柱とする領域  
 「生命」を柱とする領域  
 「地球」を柱とする領域

**4 問題形式**  
 <選択>  
 選択式の問題  
 <短答>  
 語句や短い文、数値、数式等で解答する問題  
 <記述>  
 相手や目的、意図に応じて自分の考えなどをまとめたり、考察して見いだした事実や答えの求め方、考えが正しい理由などを説明したりする問題